

大阪ガスの電力事業

～新電力としての活動を通じて～

2023.8.9

本文：10枚

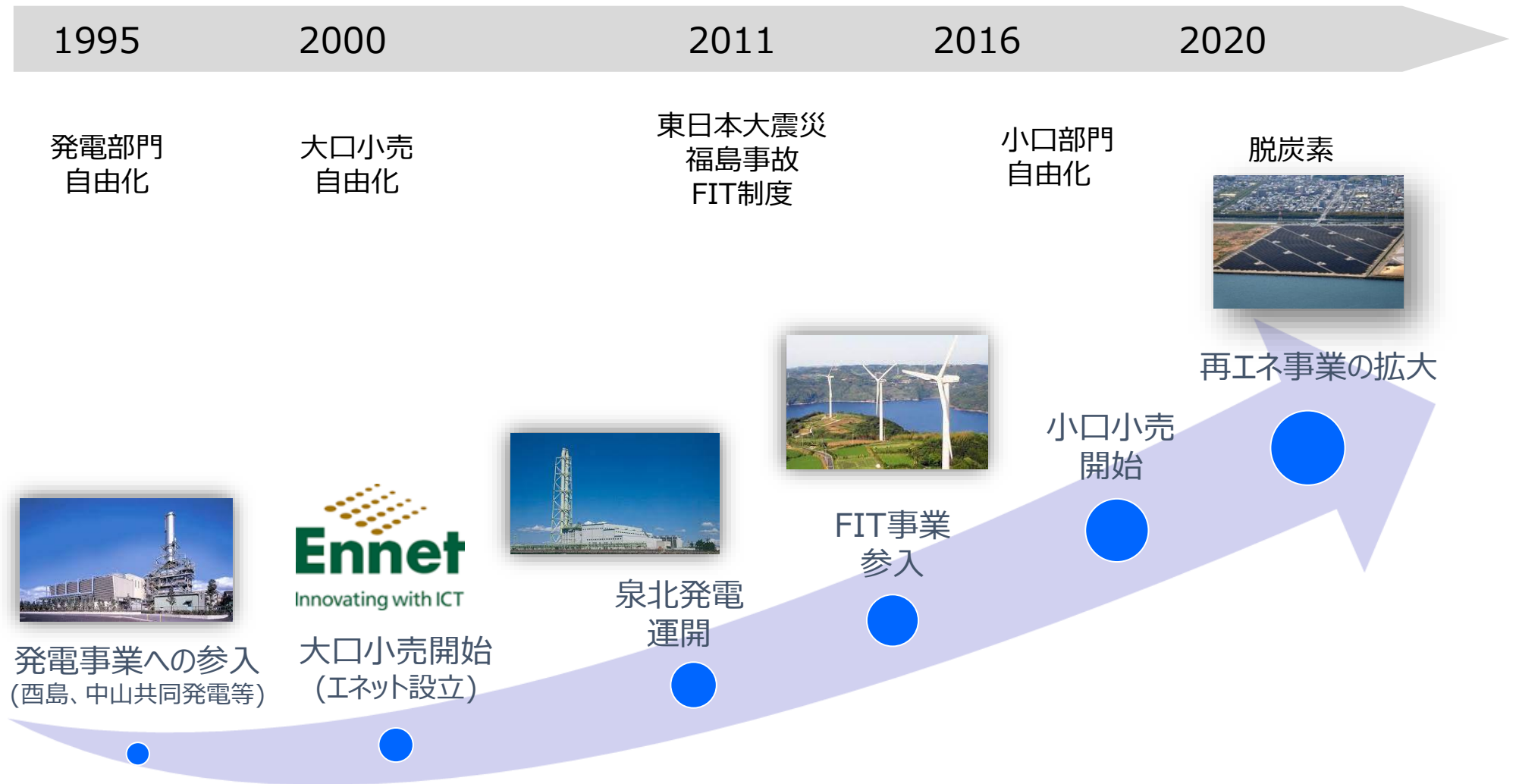


Daigas
Group

大阪ガスグループは、Daigasグループへ。

大阪ガスの電力事業の歴史

1995年のガスIPPから、約**25年**の積み重ね



電力バリューチェーン概観

事業規模**300万kW**（全国需要1.7億kWの1.8%）



中山ガス発電所
15万kW

泉北ガス発電所
110万kW



姫路ガス発電所 125万kW(建設中)



需給調整
電力市場取引



営業部門

お客さま



大口50万kW



小口150万件



新電力卸

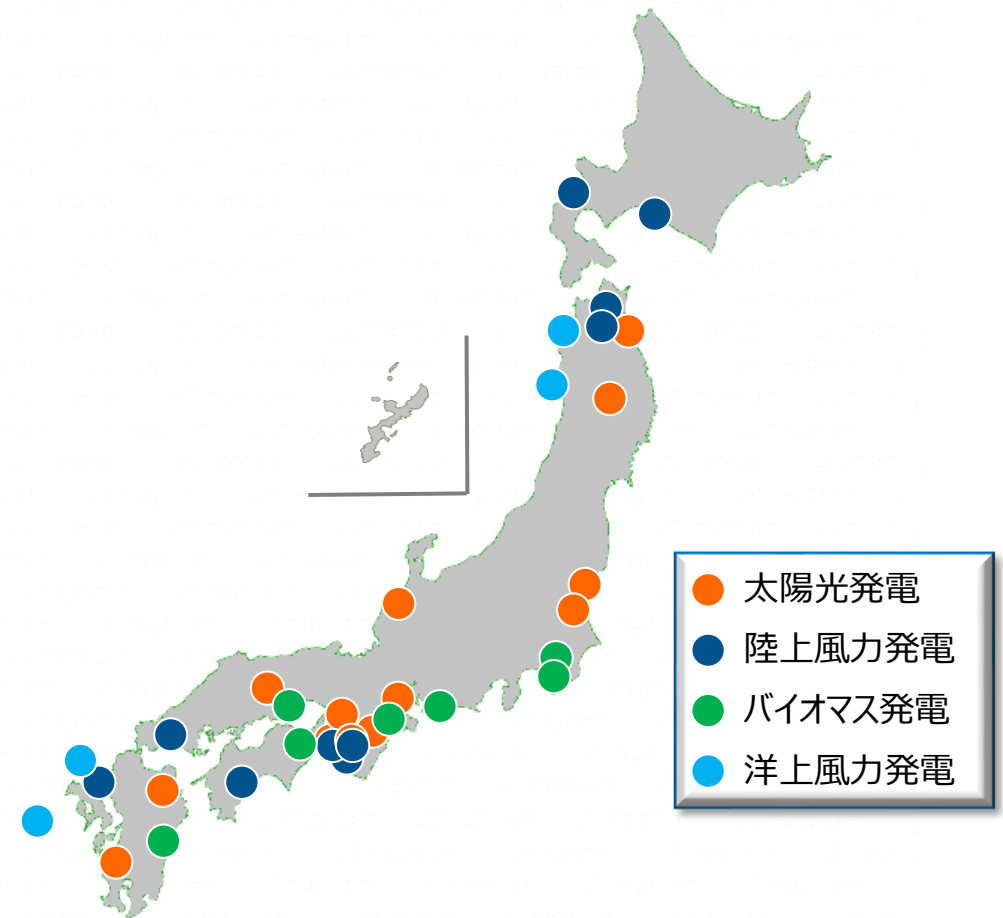
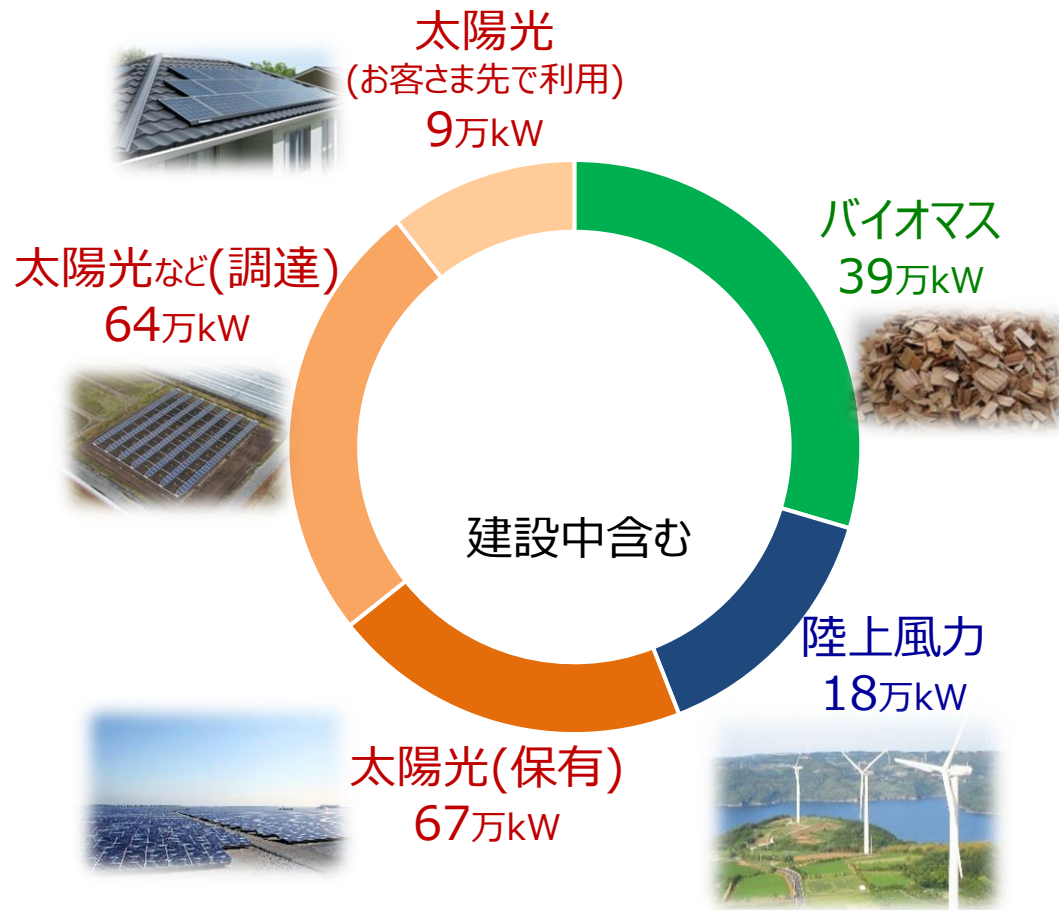


お客様のニーズは、①安定供給 ②安定価格 ③再エネ電力(大口)

再生エネルギー事業

開発と調達で **200万kW**
(全国の再エネ7000万kWの2.9%)

43都道府県
(開発+調達)



再生エネ電力販売

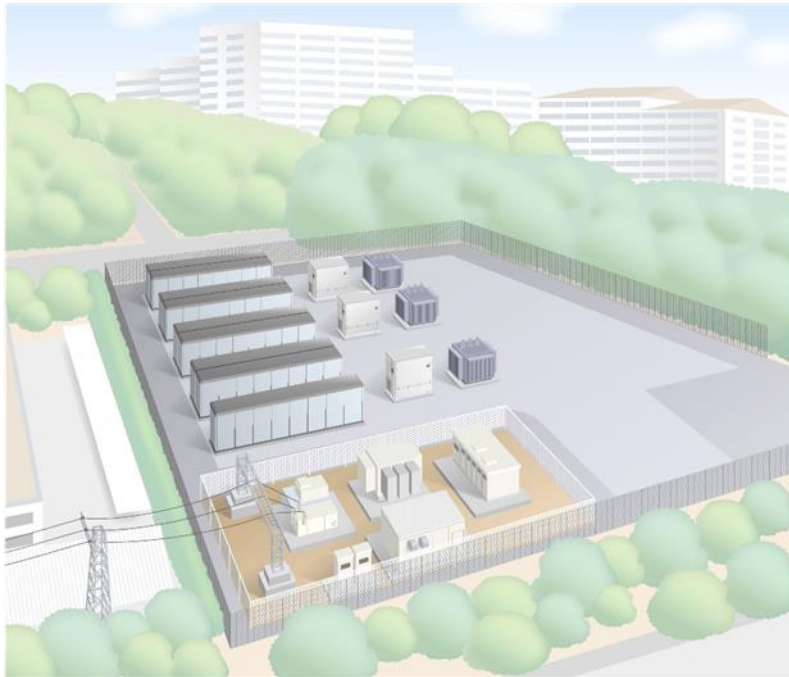
RE100などニーズのあるお客様へ**再エネ電力の販売**を開始



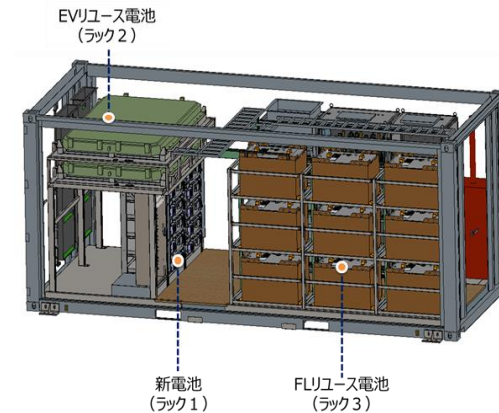
- 1) 再エネだけで、供給量および価格の安定性をつくれない
- 2) 電力トレード・JEPXデリバティブもまだ流動性が低く、**調整電源が必要**

調整力としてのバッテリーへの取り組み

系統用蓄電池
10,000kW
(大阪府・2025年運開)



リユース電池
200kW
(実証中)



将来は有望な電源ソースであるが、当面は、大きな供給力にはならない。

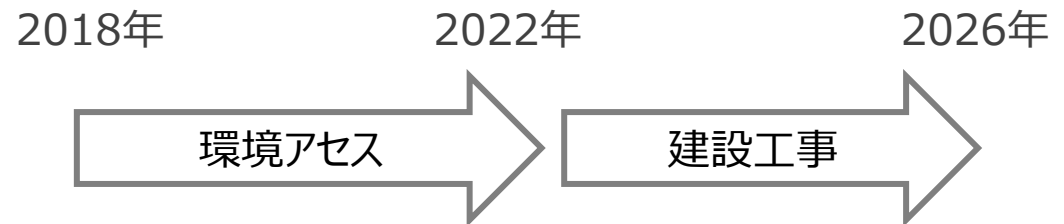
電源開発のスケジュール

大型電源の開発・建設には、**7-8年**が必要

泉北ガス発電所
110万kW(運転中)



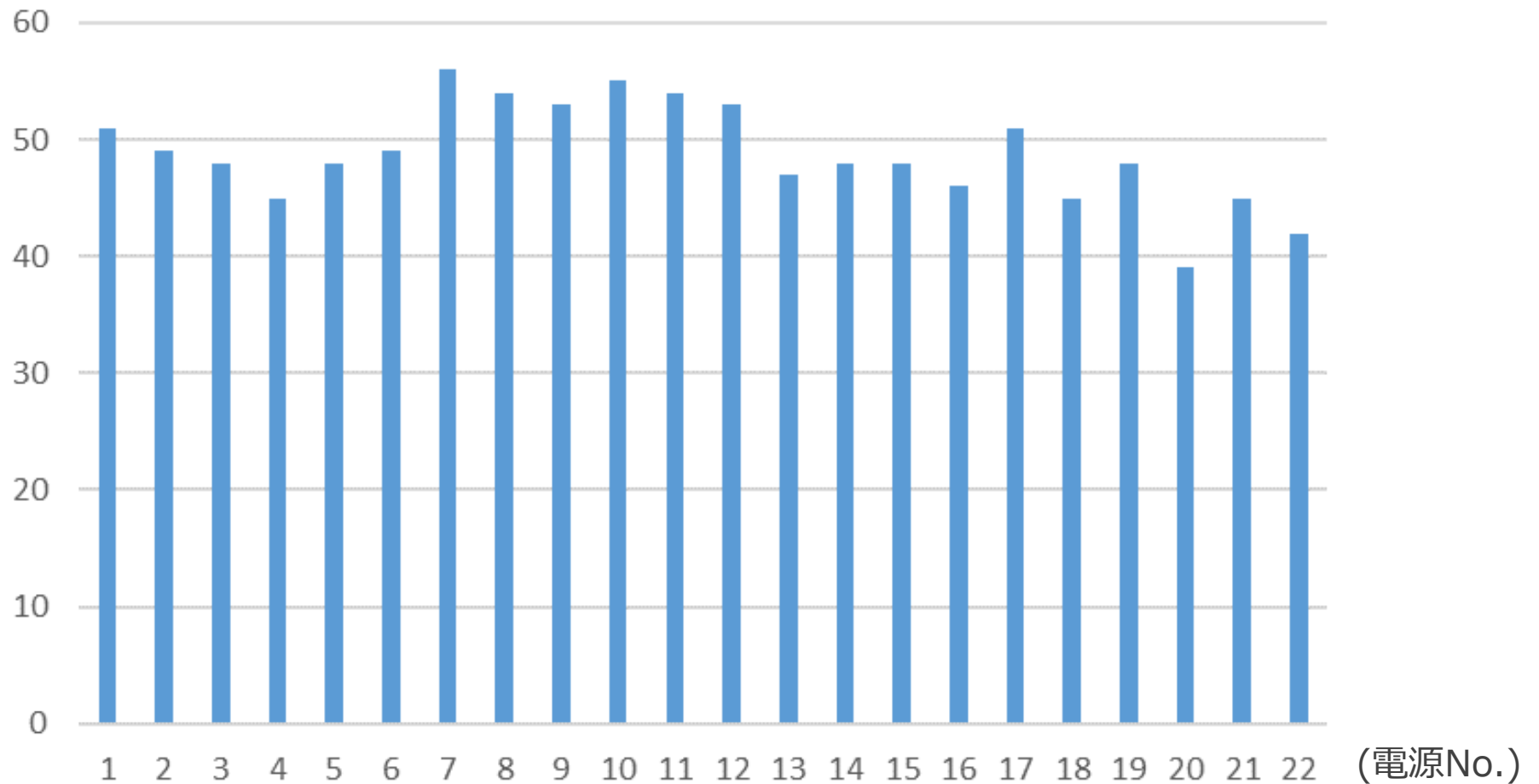
姫路ガス発電所
125万kW(建設中)



火力電源の退役年数

2016-2023年に退役した火力の稼働年数平均は**49年**

(年)



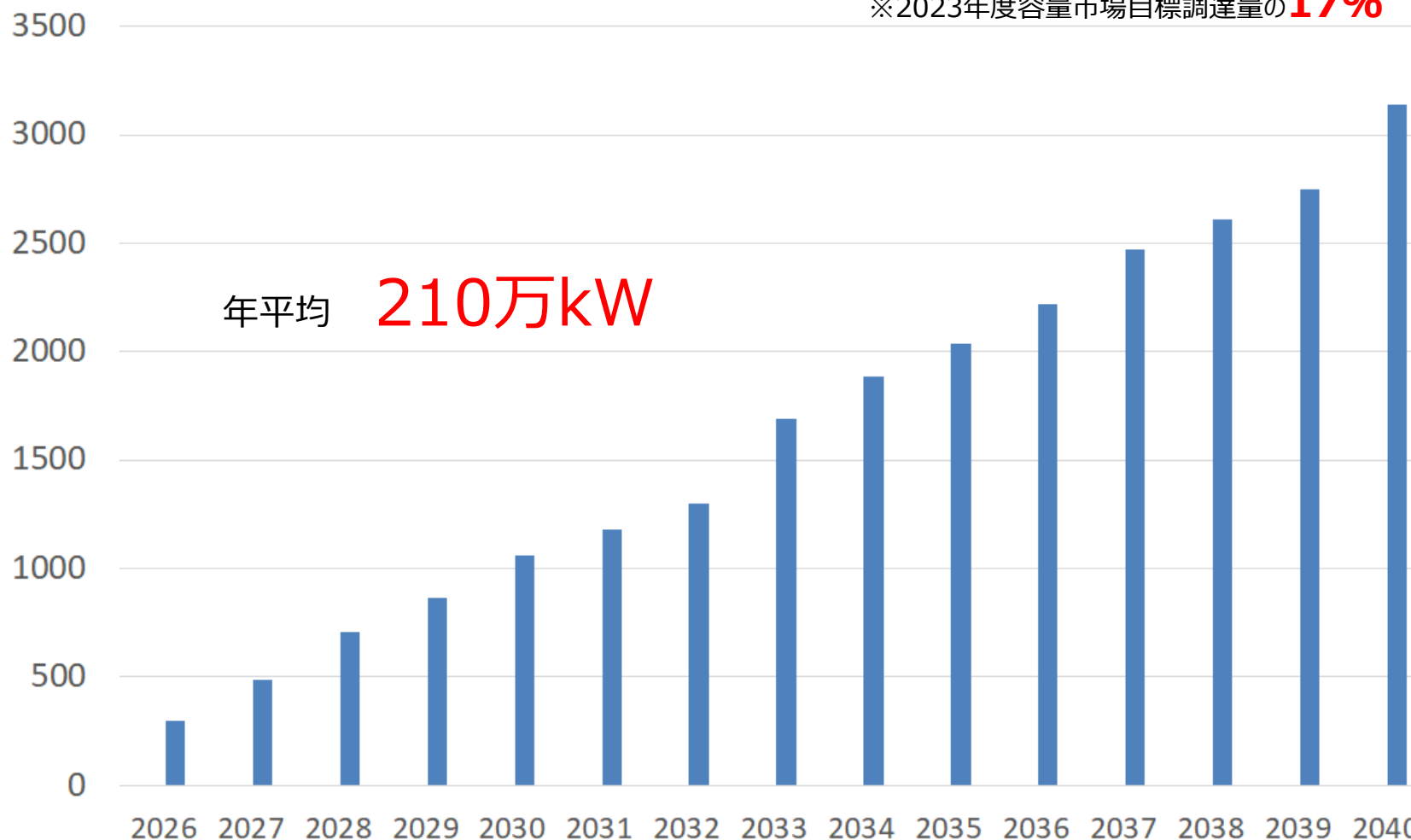
(HPの公表情報より当社作成)

稼働50年となる火力電源

高度成長期に建設した火力電源が50年目を迎える

(万kW) 2026～2040年の15年間で**累計3100万kW**

※2023年度容量市場目標調達量の**17%**

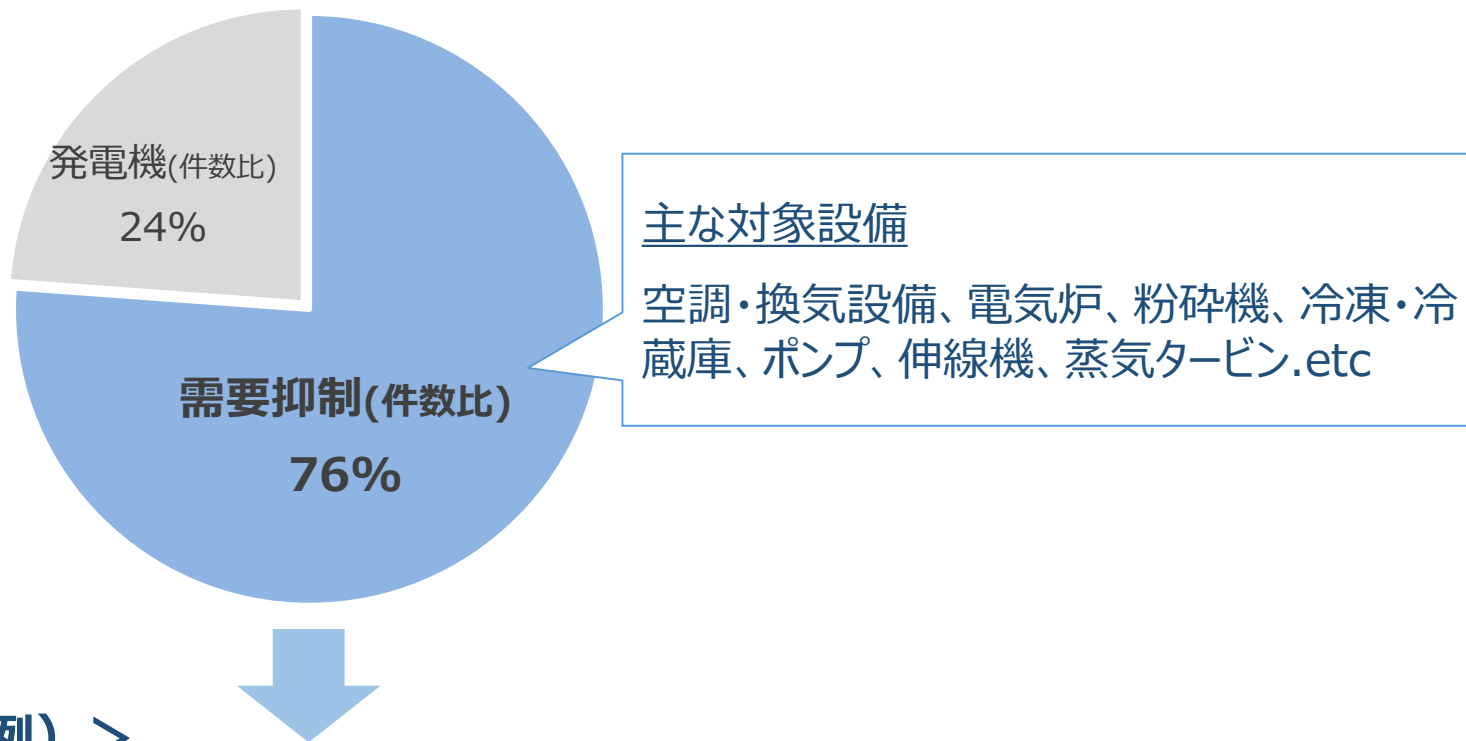


(HPの公表情報より当社作成)

調整力としてのデマンドレスポンスへの取り組み

当社のデマンドレスポンスは、お客様の需要抑制が中心

- 1) 対象は、業務用ビルの空調・工場の生産設備
- 2) 1つ1つは小さく、規模(kW)を確立するには時間がかかるが、潜在市場は大きい
- 3) 新たな設備投資はほとんどいらず、発電所の開発・建設に比べると、リードタイムが短い



<お客様の声（例）>

- ・電力需給が厳しいと聞かし、SGDの時代、設備投資もいらないので、**DRで社会貢献したい**
- ・ただ、**4年後（発動指令電源）の約束が難しい**。4年後の工場の生産計画見通しが立ちにくい。

今後について

○お客様のニーズ

- ①安定供給、 ②安定価格、 ③再エネ電力(大口)、 ④SDG(DR)へ貢献したい

○調整電源の建設の難易度アップ

- ・脱炭素となる中にて、大型電源の7-8年の開発期間と20年以上の投資回収期間
- ・バッテリーは、支援制度がなければ、事業性はまだ成立せず
- ・資材高騰・労働力不足（高度成長期と同じペースで作れるか？）
- ・低PBRの改善プレッシャー（適正なリスク・リターンが必要）



○既にセットアップされた枠組みのアップデート

- ・長期脱炭素オークション（初回応札量を踏まえた応募枠の調整・見直し）
- ・バッテリーの普及支援（系統用蓄電池補助金、各種市場への参加要件の整備）
- ・需要抑制型デマンドレスポンスの掘り起こし（1年前募集の検討）
- ・各種制度における適正なインセンティブ設定

END